

1.入退院支援ルール(試案)について

<課題>

- ・介護予防の人にここまで踏みこんで聞き取りをする必要はあるのか。
- ・一般病棟では7日前は困難。家族の希望で急に退院が決定する場合もある。
- ・病状がいつ落ち着くのか読めない部分があるため、退院7日前に連絡するのが難しい。
- ・退院前調整はせめて1週間前にはしてほしい(ケアマネ側の意見)。病院としては治療中であれば、難しい。
- ・急性期での入院となると、状態像がかなり変化する場合があるので、使いづらいかも。
- ・医療機関と地域で必要と思っている情報が異なる。
- ・入院時のケアマネからの情報提供は、必要なときに必要な内容を伝える方が良いのではないか。
- ・居宅側は、必要なデータを迅速に用意できない／病院側は、とりあえず病院に来てほしい。
- ・個人情報の壁があり、病院から情報がもらえない。(ケアマネ)
- ・加算の有無で対応が変わる場合がある。(ケアマネ)
- ・医師の「在宅は無理である」という言葉で家族はその気持ちに→退院後は「施設に」となりがちな現状がある。
- ・医療的ケアが必要な場合、地域の医療・介護資源を知りたいが、ケアマネ次第のところがある。
- ・退院前カンファレンスがある場合には、利用する予定の事業所には声をかけてほしい。
- ・利用者、家族への同意をどのように取っていくか。
- ・大きな病院ほど連携が取りにくい。
- ・病院にSWがいない場合は、スムーズに退院できない。
- ・ケアマネなど、担当の専門職がいない場合が困る。
- ・担当ケアマネがいない場合は、3日以内に連絡をするのは難しい。
- ・ケアマネが誰か分からないといった患者も多い。高齢者世帯だと、家族も把握していないことがある。
- ・入院から介護保険申請、認定までの期間で状態が変わることがある。
- ・介護保険の申請しているかどうか分からない人が最近増加してきた→市役所や民生委員から情報収集している。
- ・お薬手帳を病院毎に持っている人がおり、情報収集しにくい。
- ・退院後に、入院前からの関係が切れてしまう場合がある。(薬局)

<気を付けていること・改善点>

- ・入院前の情報提供が大切。
- ・自宅での生活状況を確認しておくことで、退院支援に役立つ。
- ・入院時の情報セット(健康保険証、介護保険証、ケアマネ名刺)を作成しておく。
- ・担当SWから家族へケアマネジャーへ連絡するようお願いしている→早めに連携が取りやすい。
- ・入院時に退院支援が必要かスクリーニングする。
- ・効率化のために、ペーパーレス、K-MIXのようにIDやpassで管理できないか。

2.入退院支援情報共有シート(案)について

<ご意見>

- ・前回よりまとまっている。
- ・共有できることは良い。
- ・入院前にシートが届くととても助かると思う。
- ・書ける範囲で構わないくらいのスタンスで。
- ・情報量が多いので記載に時間がかかる一本当りに見てくれるのか。
- ・項目としては十分。特記事項がある場合が多いが、聞き取りができれば問題ない。
- ・書面で済みますのではなく、顔を合わせて連携する姿勢が重要。

<全体の課題>

- ・入院時にたちまち必要な項目を色付け等してくれるとわかりやすいと思う。
- ・ケアマネ側と病院側と書く箇所の区分けがある方がわかりやすい。
- ・表を基本情報、裏を変化する情報にしてはどうか。
- ・ワードよりエクセルの方がシート毎に新しい情報を入れることができるので使いやすいのでは？
- ・FAXよりメール等保存できて、情報共有できることが必要。
- ・データのやりとりであれば上書きできて有効だが、セキュリティの問題で難しいのでは？紙ベースであれば、どこまで最初の用紙を使うか、また一から全て書くのか？
- ・個人情報フォルダに入れて多職種で共有できれば良いが、どこが管理するのか。
- ・ケアマネジャーが情報を短期間に準備できるか。
- ・入院時、どこまで記入したら良いのか。
- ・「その時に備えて」を記入するには、普段からの話し合いが必要。話せる人と話せない人がいる。
- ・各関係機関への周知をしっかりと行うことが大切。

<項目毎の課題>

<利用者・患者の基本情報>

- ・経済状況→記入スペースがもう少しほしい。

<本人・家族の意向>

- ・聞き手が誰かを書く欄を入れてほしい。

<入院前の受診・受領状況>

- ・治療中の疾患が多い場合、枠が3つしかないので、おさまりきらない。
- ・既往歴、手術歴→内容が多い。

<入院前の服薬情報>

- ・お薬手帳を添付した方が間違いが防止できるので、「手帳参照」が良いと思う。
- ・入院時に今までの薬を使わないこともある。(退院時も同様)

<今後の在宅生活の展望について>

- ・退院後の介護力→この項目は必要か？

<その時に備えて>

- ・代理決定者の連絡先が必要。
- ・内容を了承した人の署名と日付の欄が必要。

3.医療介護、多職種連携をスムーズにするためのポイント

「医療と介護のスムーズな連携のための7か条」を作ろう！！

	件数
○顔の見える関係づくり ・顔の見える愛のある関係づくり	11
○お互いの職種の専門性を理解しよう ・お互いの職種の専門性を尊重しましょう ・お互いの立場を理解し、尊重し合おう	10
○担当者が不在でも対応できる体制づくりをしよう	10
○お互いに思いやりをもち、ていねいな対応を心がけましょう ・相手の立場に立ち、ていねいに対応しましょう	9
○専門用語は使わず、わかりやすい言葉を使いましょう ・わかりやすい言葉で対応しましょう	9
○社会人としてのマナーを守ろう	8
○お互いに日常的な情報交換を忘れずにしましょう ・情報交換はこまめに行いましょう	5
○時間を意識しよう	4
○第一印象を大切にしよう ・笑顔を心がけて第一印象を大切にしよう	3
○わかりやすい言葉で、見やすい文字で伝えよう	3
○お互いの視点を大切に	3
○医療施設や介護事業所ごとの体制を確認する	3
○人の話は最後まで聞きましょう	3
○きちんと名乗りあおう	1
○相手の立場に立つ	1
○主役は患者様と家族	1
○電話のマナーを守ろう	0
○他職種に連絡をとるときには、どの程度急ぐ用件か判断して連絡しましょう	0
○自分の用件と相手方の受入状況を見極める	0